

<概要>

平成6年度、我が国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率は、営業運転中の全発電所（48基、総発電設備容量4,036.6万キロワット）平均で、時間稼働率は77.2%、設備利用率76.6%であった。

<更新年月>

1996年03月（本データは原則として更新対象外とします。）

<本文>

原子力発電は、1994年度末現在、総発電設備容量（電気事業用）の20.4%、1994年度推定実績で、総発電電力量（電気事業用）の31.3%を占め、主力電源として着実に定着してきている。

平成6年（1994年）度、我が国の原子力発電所の時間稼働率を表1-1と表1-2に、設備利用率を表2-1と表2-2に示した。これらの表によれば、営業運転中の全発電所（48基、総発電設備容量4,036.6万キロワット）平均で、時間稼働率は77.2%、設備利用率は76.6%であった。全発電所の運転状況を見ると、前年度に比べて、時間稼働率及び設備利用率のそれぞれに1%程度増加した。これは定期検査及びトラブルによる停止期間の割合が減少したことである。

平成6年度に新規に営業運転開始した原子力発電所は次の2機である。

東京電力（株） 柏崎刈羽原子力発電所 4号機（BWR 110万キロワット）
（平成6年8月11日運開）

四国電力（株） 伊方原子力発電所 3号機（PWR 89万キロワット）
（平成6年12月15日運開）

<関連タイトル>

[日本の原子力発電所の時間稼働率の推移（2004年度まで）\(02-05-02-01\)](#)

[日本の原子力発電所の設備利用率の推移（2004年度まで）\(02-05-02-02\)](#)

[平成6年度我が国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率\(12-01-01-16\)](#)

<参考文献>

- (1) 通商産業省資源エネルギー庁（編）：原子力発電関係資料、（平成7年）
- (2) 原子力委員会（編）：平成7年版 原子力白書、大蔵省印刷局（平成8年1月）
- (3) 資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課（編）：平成7年度（平成6年度実績）原子力発電所運転管理年報、（財）火力原子力発電技術協会（1995年9月）

表1-1 我が国の原子力発電所の時間稼働率(1/2)

設置者名	発電所名	認可出力(MW)	1994年度
日本原子力発電(株)	東海	166	81.3
	東海第二	1,100	90.3
	敦賀1号	357	75.8
	敦賀2号	1,160	80.8
北海道電力(株)	泊1号	579	100.0
	泊2号	579	80.4
東北電力(株)	女川原子力1号	524	79.7
東京電力(株)	福島第1原子力1号	460	100.0
	福島第1原子力2号	784	35.8
	福島第1原子力3号	784	62.8
	福島第1原子力4号	784	90.7
	福島第1原子力5号	784	65.1
	福島第1原子力6号	1,100	100.0
	福島第2原子力1号	1,100	79.9
	福島第2原子力2号	1,100	76.4
	福島第2原子力3号	1,100	51.0
	福島第2原子力4号	1,100	89.9
	柏崎刈羽原子力1号	1,100	77.0
	柏崎刈羽原子力2号	1,100	79.5
	柏崎刈羽原子力3号	1,100	79.5
	柏崎刈羽原子力4号	1,100	* 63.2
	柏崎刈羽原子力5号	1,100	99.0
中部電力(株)	浜岡原子力1号	540	61.9
	浜岡原子力2号	840	62.5
	浜岡原子力3号	1,100	100.0
	浜岡原子力4号	1,137	75.5
北陸電力(株)	志賀原子力1号	540	76.0

注) 1. ユニット毎の時間稼働率 = $\frac{\text{稼働時間数}}{\text{歴時間数}} \times 100 (\%)$

2. 合計欄の時間稼働率(平均時間稼働率) = $\frac{(\text{許可出力} \times \text{稼働時間})\text{の合計}}{(\text{許可出力} \times \text{歴時間})\text{の合計}} \times 100 (\%)$

3. *印の欄は当該発電所の運開の初年度に当たり、運転開始以降の歴時間数に基づく時間稼働率を計上してある。
(出典:「原子力発電関係資料」資源エネルギー庁)

[出典] (1) 原子力委員会(編):原子力白書 平成7年版、大蔵省印刷局(1996年1月)

(2) 資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課(編):平成7年度(平成6年度実績)原子力発電所運転管理年報、(財)火力原子力発電技術協会(1995年9月)

表1-2 我が国の原子力発電所の時間稼働率(2/2)

設置者名	発電所名	認可出力(MW)	1994年度	
関西電力(株)	美浜1号	340	0.0	
	美浜2号	500	55.7	
	美浜3号	826	88.2	
	高浜1号	826	55.6	
	高浜2号	826	70.3	
	高浜3号	870	78.7	
	高浜4号	870	100.0	
	大飯1号	1,175	46.1	
	大飯2号	1,175	69.5	
	大飯3号	1,180	82.9	
	大飯4号	1,180	92.4	
	中国電力(株)	島根原子力1号	460	55.2
島根原子力1号		820	98.8	
四国電力(株)	伊方1号	566	83.3	
	伊方2号	566	80.1	
	伊方3号	890	* 100.0	
九州電力(株)	玄海原子力1号	559	55.8	
	玄海原子力2号	559	68.8	
	玄海原子力3号	1,180	73.1	
	川内原子力1号	890	100.0	
	川内原子力2号	890	75.4	
合計		40,366	平均	77.2
動燃事業団	ふげん	165	67.1	

注) 1. ユニット毎の時間稼働率 = $\frac{\text{稼働時間数}}{\text{歴時間数}} \times 100 (\%)$

2. 合計欄の時間稼働率(平均時間稼働率) = $\frac{(\text{許可出力} \times \text{稼働時間})\text{の合計}}{(\text{許可出力} \times \text{歴時間})\text{の合計}} \times 100 (\%)$

3. *印の欄は当該発電所の運開の初年度に当たり、運転開始以降の歴時間数に基づく時間稼働率を計上してある。
(出典:「原子力発電関係資料」資源エネルギー庁)

[出典] (1) 原子力委員会(編): 原子力白書 平成7年版、大蔵省印刷局(1996年1月)

(2) 資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課(編): 平成7年度(平成6年度実績)原子力発電所運転管理年報、
(財)火力原子力発電技術協会(1995年9月)

表2-1 我が国の原子力発電所の設備利用率(1/2)

設置者名	発電所名	認可出力(MW)	1994年度
日本原子力発電(株)	東海	166	67.3
	東海第二	1,100	90.0
	敦賀1号	357	75.2
	敦賀2号	1,160	80.3
北海道電力(株)	泊1号	579	100.0
	泊2号	579	79.5
東北電力(株)	女川原子力1号	524	79.4
東京電力(株)	福島第1原子力1号	460	100.0
	福島第1原子力2号	784	34.9
	福島第1原子力3号	784	61.2
	福島第1原子力4号	784	90.1
	福島第1原子力5号	784	64.4
	福島第1原子力6号	1,100	99.9
	福島第2原子力1号	1,100	79.6
	福島第2原子力2号	1,100	76.1
	福島第2原子力3号	1,100	49.8
	福島第2原子力4号	1,100	89.4
	柏崎刈羽原子力1号	1,100	76.1
	柏崎刈羽原子力2号	1,100	79.1
	柏崎刈羽原子力3号	1,100	79.1
	柏崎刈羽原子力4号	1,100	* 63.0
	柏崎刈羽原子力5号	1,100	98.7
中部電力(株)	浜岡原子力1号	540	61.3
	浜岡原子力2号	840	61.7
	浜岡原子力3号	1,100	100.0
	浜岡原子力4号	1,137	74.1
北陸電力(株)	志賀原子力1号	540	75.1

注) 1. 設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{許可出力} \times \text{歴時間数}} \times 100 (\%)$

2. *印の欄は当該発電所の運開の初年度に当たり、運転開始以降の歴時間数に基づく設備利用率を計上してある。
(出典:「原子力発電関係資料」資源エネルギー庁)

[出典] (1) 原子力委員会(編): 原子力白書 平成7年版、大蔵省印刷局(1996年1月)

(2) 資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課(編): 平成7年度(平成6年度実績)原子力発電所運転管理年報、(財)火力原子力発電技術協会(1995年9月)

表2-2 我が国の原子力発電所の設備利用率(2/2)

設置者名	発電所名	認可出力(MW)	1994年度	
関西電力(株)	美浜1号	340	0.0	
	美浜2号	500	53.7	
	美浜3号	826	87.7	
	高浜1号	826	54.8	
	高浜2号	826	68.4	
	高浜3号	870	78.7	
	高浜4号	870	100.0	
	大飯1号	1,175	45.4	
	大飯2号	1,175	68.7	
	大飯3号	1,180	82.2	
大飯4号	1,180	91.1		
中国電力(株)	島根原子力1号	460	54.7	
	島根原子力1号	820	98.4	
四国電力(株)	伊方1号	566	82.0	
	伊方2号	566	79.8	
	伊方3号	890	* 100.0	
九州電力(株)	玄海原子力1号	559	54.6	
	玄海原子力2号	559	67.6	
	玄海原子力3号	1,180	73.0	
	川内原子力1号	890	100.0	
	川内原子力2号	890	74.4	
合計		40,366	平均	76.6
動燃事業団	ふげん	165	66.6	

注) 1. 設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{許可出力} \times \text{歴時間数}} \times 100 (\%)$

2. *印の欄は当該発電所の運開の初年度に当たり、運転開始以降の歴時間数に基づく設備利用率を計上してある。
(出典:「原子力発電関係資料」資源エネルギー庁)

[出典] (1) 原子力委員会(編): 原子力白書 平成7年版、大蔵省印刷局(1996年1月)

(2) 資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課(編): 平成7年度(平成6年度実績)原子力発電所運転管理年報、(財)火力原子力発電技術協会(1995年9月)